

## モルディブの廃棄物処理課題を 千葉県企業が解決します

### 低廉な導入・稼働コストで、発生セラミック灰の埋立等も不要

国際協力機構(JICA)は1月26日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社 佼和テクノス(千葉県市原市、神田 眞一 代表取締役)が提案する「マレ島及び島嶼地域における次世代型熱分解炉を活用した廃棄物処理システム案件化調査」(モルディブ国)を採択しました。

モルディブ国の首都であるマレには、同国人口の35%に相当する約11.7万人が居住していますが、マレ及び他のリゾート島等からの廃棄物は年々増加しており、その悪臭や不法投棄、有害物質の発生といった問題が発生し、これら廃棄物問題の解決が課題になっています。

今回提案のERCM(Earth Resource Ceramic Machine)は、電力のみで有機性の廃棄物を熱分解して大幅に減容化する装置であり、従来の焼却炉のように重油等の補助燃料を使って廃棄物を燃焼させないことから、低コストで環境にも配慮した処理が可能となる製品です。



20t 処理機導入事例(ブラジル)



5t 処理機導入事例(愛知県)

本事業ではモルディブ国の現状、事業環境の状況及び製品活用可能性等を調査するため、同国環境エネルギー省、マレ市政府の他、環境保護庁、ティラフン公社及び現地パートナー候補企業等にヒアリング調査を実施するものです。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第2回分は昨年9月に公示を行い36件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第2回公示の採択結果について

URL:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京 市民参加協力第一課 稲澤 定、千葉 理恵

TEL 03-3485-7680 E-mail: [Inasawa.Sadaka@jica.go.jp](mailto:Inasawa.Sadaka@jica.go.jp), [Chiba.Rie.2@jica.go.jp](mailto:Chiba.Rie.2@jica.go.jp)